

公益社団法人日本雪氷学会

平成 26 年度、 第 2 回 関東以西支部幹事会 議事録

場所： 八戸工業大学 C 3 1 0 号室

日時： 2014 年 9 月 20 日（土） 12 時—14 時

定足数確認（上野）

出席者 松田、澤田、宍戸、杉浦、上野、渡辺 6 名、

委任状 森川、伊藤、川島、中沢、大藤 計 5 名（理事数 12 名）

1. 支部会計現状報告（澤田）

澤田氏より現状の会計状況に関する説明があった

第一回支部会理事会費として管理費（63000 円）から 51318 円を支出した。

内訳 JPGU での会議室借り上げ 44000 円（JPGU）、事務局費（郵送代）7318 円
事業費（240000 円）が未使用となっている。

今後の使用計画についての議論

*事業毎の担当者を明確にする必要がある

*サイエンスアゴラに対しては研究会研修会経費および調査費を合算し、10 万程度は計上できる。

*富士山調査に関する項目は、実質的に実行不可能である公算が高い。

*積雪調査に関しては、雪野さんに予定を確認する（※本件は上野が懇親会にて雪野さんに伝えました）。

*関東（東京）にて一般を対象とした模擬積雪観測を実施する案が提示された。

場所：鉄道総研（国立）

内容：北陸関係者から積雪を輸送してもらい、断面観測などを体感してもらう。

予定時期：1 月

担当：宍戸さんが、森さん（JAMSTEC）にも声をかけ、実行可能かどうかを支部会にて検討していく。サイエンスアゴラなどで実施の宣伝を行う。

2. サイエンスアゴラの準備について（宍戸）

宍戸氏より具体的な実行計画の説明があり、補強すべき点に関して議論がなされた。

*当初予算（5 万程度）にはもっと余裕を持たせることが可能。

*補助人員を 3 名程度追加する。

*同一堆積で雪の重さの違いがより実感できるように装置を工夫する（ペットボトル、台

秤の準備)。

* 平松式人工雪発生装置は独自に準備(購入)すればよい。

* 液晶テレビ+PCを導入して動画を流す。

今回の議論を踏まえ、不足物品・担当(購入予定)者などを付加した実行計画案を更新してメールにて周知していく(宍戸)。

3. 2016年雪氷研究全国大会(関東以西支部が担当)の開催地と準備委員会の発足について(松田)

松田氏より、2年後の雪氷研究大会開催地の候補として沖縄に関する提案説明があった。

* 実質40名程度の実行委員をどのように組織化するかが要検討。

* 会議室の借り上げなどどの程度の予算がかかるかを沖縄県側の事務担当と相談する必要がある。

* 他に、JAMSTEC(横浜)、つくば、三重などの複線も入れて支部内で検討する。

* 来春までに候補地を一か所に絞った後、理事会に提案する。

4. 2015/2016年度関東以西支部役員の改選について(杉浦、他)

杉浦氏より支部役位改選のスケジュールと改選ルールの概案が説明があり現役員の相当数が既に2期をこなしていることが議題となった。候補者選定にあたっては、以下の諸点を考慮する。

* 任期は1期2年ですが、連続2期を限度で一旦は退任とする。1期に立派に活動していただいた方には2期目も是非お願いし、各種支部会合に全欠の方は交代していただく。

* 主要な機関(極地研、JAMSTEC、名大、電中研、つくば防災研、コンサル、鉄道総研とか)から出来る限り代表を出していただく。その際、産学官の一方に偏らないようバランスを多少は考慮する。特に電力、鉄道、道路などの代表的な産業界からは代表者を出していただけると行事をするうえで何かと便利。

* 関東、中部、関西、中国四国九州など、地域的なバランスにも多少は考慮する。

* とにかく、積極的に活動参加していただければよい人(アイデアだけでも良い)。

5. その他

ニュースレターに関しては、今までに準備された記事があるかどうかを確認して、周知する(渡辺)。今回予定されている事業が終わってからこれらをニュースにして年度末に出す事も考える。

次回支部理事会について: 2015年1月10日(土)に予定し、下記議題を審議する。

・次期支部役員候補の構成について

・2016年雪氷研究全国大会(関東以西支部が担当)の開催地と準備委員会の委員構成について

- ・雪氷調査など今年度事業の実施について
- ・サイエンスアゴラの実施報告

※ 上記を踏まえて、2014年度第1回支部長・幹事長会（9月22日、月、12-13時）へは現時点での収支決算内容を報告する（松田、上野）。

追記：

9月21日（月）に実施された支部長会合での主要議論事項

* 化学会館の事務局閉鎖と佐藤さんの退職が報告され、事務作業が民間委託となる。これに伴い、今までの収支予算報告書の形式・項目が大幅に変更される予定である。また、100km以上の交通費支給には鉄道・バスの領収書も必要となる。

* 来年度の支部長候補者の理事会への推薦を12月26日までにを行う必要がある。そのため支部内での推薦作業を開始する必要がある。